

# 宝仙学園小学校

〒164-8631 東京都中野区中央 2-33-26 TEL 03-3371-9284 <https://www.hosen.jp/>  
 【交通】東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線中野坂上駅

【理事長】富田 道生  
 【校長】正路 進

## 自ら学び チャレンジと共創で 未来をつむぐ

### 思考力と学力で拓く、多様な進路

仏教精神に根ざした情操教育のもと、子どもたちの心を育てながら、教科担任制による専門性の高い教育と、放課後の「中学受験コース」により、高い学力を育成します。さらに、「創造探究」で培った思考力を武器に、難関中学への挑戦や、医学進学コースを備えた併設中高への内部進学など、多様な進路の実現を力強く支えます。

### 特色ある宝仙学園の授業

#### 【探究】

自らゴールを設定し、正解のない問いに挑む「探究学習」を重視しています。大きな特徴は、1年生から実施している独自教科「創造探究」です。

身近な疑問から問いを見だし、他者と協働しながら解決に向かうプロセスを通して、主体性や非認知能力を育みます。6年生では、その集大成となる「卒業研究」に取り組みます。

#### 【アフタースクール（放課後活動）】

多様な学びの機会を保障するため、外部企業と連携した充実した放課後活動を展開しています。放課後学習教室「宝仙 Nobiruba」では、1年生から個別進度学習に取り組めるほか、3年生以上には学校の学習進度と連携した「中学受験コース」も用意されています。さらに、プログラミング教室「プログラボ」や、iPadを活用した暗算教室「そろタッチ」など、多様なプログラムを通して子どもたちの興味や可能性を広げる環境を整えています。

#### 【英語教育】

日本人としての誇りを持ち、世界で活躍できる人材の育成を目指したグローバル教育を行っています。1年生から全学年で週2時間の英語授業を実施し、実践的な学びを充実させています。また、希望者を対象とした夏のオーストラリアでの「イングリッシュキャンプ留学」など、本物の異文化に触れる体験の機会も用意されています。英検ジュニアの運営や校内での英検実施など、英語力を伸ばすサポートも充実しています。



### 沿革

真言宗豊山派宝仙寺第五十世住職富田敦純は、昭和2年に感応幼稚園を、翌年には中野高等女学校を設立。学制改革に伴い、高等女学校、幼稚園をそれぞれ宝仙学園高等学校、宝仙学園幼稚園と改称し、短期大学、中学校を設立。28年に小学校を開校し、総合学園となる。平成19年宝仙学園中学高等学校共学部「理数インター」を開校。平成21年4年制大学こども教育宝仙大学を開校、現在に至る。

### 2027年度募集要項

募集人員：男女70人（内部進学者を含む）  
 出願期間：推薦10月1日～10月5日（WEB出願）  
 一般10月15日～11月9日（WEB出願（締切日は12:00まで））  
 ※出願後に書類送付が必要  
 審査料：20,000円  
 選考日：推薦11月1日 一般11月14日  
 選考内容：素質検査、行動観察、個別面接（受験生・保護者別）  
 合格発表（WEB）：推薦11月1日 一般11月14日  
**【かかる費用】**  
 ○入学金：250,000円 ○授業料：660,000円（年額）  
 ○その他 施設維持費、給食費、父母会費等が必要  
 ○初年度納付金：952,500円（寄付金（任意）あり）  
**◆学校説明会**：6月2・5日、9月8・10日

### 併設中学進学状況

◆宝仙学園中学・高等学校共学部理数インター1人

### 2026年春の合格実績

**【共学校】** 栄東17、広尾7、日大ニ6、佐久長聖5、埼玉栄、安田学園、早稲田佐賀各3、三田国際、明大明治各2、開智所沢、狭山ヶ丘、実践学園、渋谷教育幕張、千代田国際、筑波大附、東京農大一、宮崎日大など **【男子校】** 城北4、巣鴨、明大中野、立教新座各3、海城、学習院、獨協、早稲田各2、開成、攻玉社、駒場東邦、筑波大附駒場、桐朋、灘、武蔵など **【女子校】** 跡見7、白百合6、浦和明の星、豊島岡、山脇学園各4、大妻3、桜蔭、吉祥女子、雙葉各2、共立、十文字など

### データパック

◆児童数450人／教員数30人  
 ◆26年度応募者数：男子90人、女子67人（内部進学者除く）  
 ◆合格者数：男子24人、女子27人（内部進学者除く）  
**【併設校】** ○宝仙学園幼稚園 ○宝仙学園中学高等学校「女子部（高校のみ）」「共学部理数インター」 ○こども教育宝仙大学

### 併設中学に進むには

内部進学制度も整っており、多くの児童が併設中学校への内部合格を得ています。

### 好奇心から、挑戦がはじまる

校長 正路 進

宝仙学園小学校は、仏教の精神に根ざした落ち着いた環境の中で、子どもたちの「なぜだろう」「やってみよう」という好奇心を大切にしています。

試行錯誤を重ねながら挑戦し、その過程そのものを価値ある学びと捉えています。友だちと学び合い、夢中で探究する経験の積み重ねが、未来を切り拓く力を育てます。教師は「師弟同行」の姿勢で寄り添い、一人ひとりの可能性を伸ばしていきます。